

旭

印刷を支え加工を活かす

技術開発部門
ルー
チー
チュン



外国人技能実習生として入社をしたチュンさん。現在は、技術開発部門で、日々業務に奮闘しています。そんなチュンさんに、これまでで特に印象に残っている仕事や、今後の目標について伺いました。

まずは現在の業務内容について教えてください。

今は技術開発部門で中田課長のご指導のもと、働いています。主な仕事は、機械の修理やメンテナンス、修理に必要な部品を外部に発注することです。また、プログラマセットも担当しています。

ご入社のきっかけは何ですか。

日本がとても好きだったからです。大学卒業後は、日本で就職したいと考えていました。そこで、共新組合様から当社を紹介していただき、ベトナムで橋野社長の面接会に参加した後、入社を決定しました。旭紙工に入社したばかりのときは、様々な環境の変化に驚かされました。その中の一つとして、作業スピードが早いことが挙げられます。最初は、周りの作業速度に中々追いつくことができませんでした。また、何より一番苦労したのは、言語の壁です。上司の言っていることを理解できずいたため、周りの人たちの作業手順をお手本にしながら勉強していました。

これまでの仕事の中で、最も「やりきった」と思う経験はありますか。

中級部門で4年間働いていましたが、家庭の事情で一度帰国しました。その後、日本に戻って当社に再雇用していただき、技術開発部門に配属されました。それまで本格的に機械開発の仕事を経験したことがなかったため、環境の変化に驚かされる日々……。しかし、中田課長から様々なことを教えていただいたおかげで、すぐに適応できるようになりました。今後も仕事を通じて、どんどん成長していきたいと思っています。

最大の挫折経験について教えてください。

技術開発部門での仕事は、知識と細かな作業が必要です。例えば、プログラマをセットするときは、手順を間違えると、直すのにかなりの時間がかかってしまいます。工場には多種多様な機械があるため、発生する動作故障や問題も様々です。中田課長の指示がなくては、とても対応できませんでした。勉強に励んだことで、最近色々と分かってきましたが、まだまだ半人前。発生した問題について自分だけで解決するには、これからも沢山勉強していかなければなりません。

これから力を入れたいことは何ですか。

現在はプログラマセットや帯掛け機・結束機・パンデックス、テープカッターの修理をしています。しかし今後は、中級機機のクラもメンテナンス時期に近づいているので、中級機機に詳しい私にとっては、チャンス！中田課長の手助けがなくても、できるように頑張ります。

もっと日本語を話せるようにしたいと思っています。ありますか。

職場のマネージャーの方々は、いつも職員を気にかけてくださるので、働きやすい環境だと感じます。また、工場で働く方たちも、外国人である私たちに優しく接してくれています。働いている今の職場にはとても満足しています。さらに良い環境にするために強いて言うとしたら、皆で機械の扱いに注意をし、常に綺麗さを保っていくということです。それは、仕事をスムーズに進める上で、とても大事なことだと考えています。

それでは最後に、今後の目標について教えてください。

今は日本語の能力が十分なレベルに達していないため、もっとたくさん勉強をしたいと思っています。そして、専門スキルに関しては、現場で実際に様々な機械に触れながらスキルアップしていきたいと考えています。特に、問題が発生したときに必要な解決力、対応力を鍛えて、どんな状況でも1人で対応できるようにしていきたいと思っています。



Message For You

今回表紙を飾ったチュンさんへ向けてのコメントを、
上司で技術開発部門の課長を務める中田圭一さんより頂きました！

技術開発部門に所属してから1年半……。初めのころは中々言葉も伝わらず、指示をだしても本人はわかっているつもりで「はい、はい」と返事をするのですが、実際見ていると全く違うことをしていたり迷っていたりで伝えることに苦労をしました。最近は、チュンさん自身も言葉を少しずつ覚えてきたので、こちら側もどう伝えれば理解してくれるのかを意識して指示を出し、伝わるようになりました。この1年半で様々なことを経験し、少しずつできることが増えてきたので、機械の修理の幅も広がってきたと思います。様々な機械トラブルがあると思いますが、自分でよく考えて乗り越えていけるように頑張ってください。技術者としてこれから先、まだまだたくさん覚えることがありますが、常に前向きな姿勢で一緒に頑張っていきましょう！

設備紹介

— タンザック —



私が紹介します！



工場本部
本社 マルチ部門 課長
まつお たけし
松尾 剛志さん

今回は、金属を使わず自然に優しいカレンダー製本の機械、「タンザック」をクローズアップ！その特徴や利点、使用上の注意など様々な角度からお話を伺いました！

エコで安全な タンザック

Q.どのような機械なのでしょう？

厚紙を使ってカレンダーの製本を行う機械です。壁に掛ける大きなカレンダーの製本方法は主に3種類あり、その1つが厚紙を用いてカレンダーの上部を止めるタンザック製本。他2つの製本方法に比べてタンザック製本の優れている部分は、「エコ」であるところと「安全」であるところ。まず、タンザック製本は金属を使っていないという特徴があるため、カレンダーを全てリサイクルすることができ、環境性において優れていると言えます。さらに、廃棄の際に金具を分別する煩わしさもありません。安全面を考慮すると、金具の製本の場合は指が当たって怪我をしてしまうおそれがあります。しかし、厚紙の場合はそのリスクを最小限に抑えることができるというメリットがあるのです。現在、製造物責任法の影響もあって安全が重視されているため、当社のカレンダーの製本方法の割合はタンザック製本が大多数を占めており、他社でも同じ傾向にあります。

最終工程を担当！

Q.いつ使用するものですか？

後にカレンダーとなる印刷物は、表紙から12月までのページが1枚1枚バラバラで入荷されます。初めに、それらをお客様指定の寸法に裁断する工程があり、次にページを正しい順番に重ね合わせる丁合を行います。そして最後に登場するのが、タンザックです。

長く頼りに されている存在

Q.現在の機械はいつ導入されたものですか？

導入したのは、私の記憶にないくらい前のことです。今ではカレンダー製本の大半を占めるタンザック製本ですが、昔はあまり目立っておらず金具製本が主流でした。それから徐々に、安全を重視する観点からタンザック製本が取り入れられ、現在に至ります。そのため当社は、昔から先手先手で新たな機械を導入するように心掛けていたのだと感じています。

技術と経験 が必須

Q.使用するには資格や免許等は必要でしょうか？

資格や免許は必要ありません。ただし、他の機械と同様に技術や知識は沢山必要とされます。特にタンザック製本だと、同じ寸法であっても紙の種類や厚さ、質によって合わせ方が異なってきます。そのため、経験や技術が身につけていないと、製本不良が起きてクレームに繋がってしまうということもあるのです。また、カレンダーの製本はカレンダーが売られるシーズンに合わせた8月のお盆明けから12月上旬までの期間しか行われません。従って、実際に機械を用いた教育はその短期間に実施する必要があります。

体験を 通した教育を 集中的に！

Q.現在この機械を使用できる方は何名いますか？

6~7名です。カレンダー製本は短期間の勝負であるため、慣れている人ばかりがタンザックを担当しており、まだまだ使える人が少ないという現状。そこで新人をこれから育てていくために、できるだけ私の横について作業を見ながら学んでもらうよう心掛けています。これにより、外国人の社員にも分かりやすく伝わるのではないかと考えています。

事故に注意！

Q.使用上での注意点はどこでしょうか？

機械を触るときは必ず機械を止めることです。実際にタンザックの製本機で怪我をした人も、今までに2名いらっしゃいます。また、製品の質という観点からは、お客様から頂いた指示書を見て寸法や枚数などを必ず確認し、それを元に作業することにも注意しています。各工程に入る前に、原稿と呼ばれる製品サンプルと指示書を確認することは、社内ルールとしても徹底されています。

作業範囲の 拡大を目指して

Q.今後の目標は何ですか？

機械のセットアップや微調整のできる人を教育して増やすことです。これはタンザック製本に限らず、作業範囲を広げてもらいたいと考えています。製本に関して幅広い知識を得ることで、既にできているところも応用が効き、より効率的で不良品の出ないセットアップに繋がるのではないのでしょうか。



日本の行事を楽しむ暮らし

最近、夜空を見上げていますか？
毎年、日本の秋には、1年で月が最も美しいとされる
中秋の名月を見ることができる日があります。
今回はお月見をより楽しむための
情報をご紹介します！

今年の「中秋の名月」はいつ？

中秋の名月は、旧暦8月15日の月を指すため、毎年日付が変わります。2021年は9月21日(火)です。また、十五夜とは、1年で月が最も美しいとされている中秋の名月を鑑賞しながら、収穫などに感謝をする行事のことです。

月の模様のたとえば世界で違う！？

日本では、月の模様をうさぎが餅つきをしていると
たとえられるのが一般的ですが、国によってたとえ
方は異なります。

- ・餅つきをしているうさぎ(日本、韓国)
 - ・不老不死の薬を挽くうさぎ(中国)
 - ・ヒキガエル(中国)
 - ・ワニ(南アメリカ、北アメリカインディアン、インド)
 - ・吠えるライオン(アラビア)
 - ・髪の毛の長い女性(東ヨーロッパ、北アメリカ)
 - ・大きな木の下で休憩する男性(ベトナム)
 - ・悪行の報いとして幽閉された男性(オランダ)
- 皆さんはどのような模様に見えますか？

なぜ団子とススキをお供えするの？

お月見に欠かせないものといえば団子です！作物の
収穫に感謝し、これから実るものに対しては豊作を
祈願します。丸い月見団子は、満月に見立てたもの
です。お供えする際は、三方や皿に白い紙を敷き、
十五夜にちなんで15個盛ります。月見団子はお月
見をした後、月に感謝をしながら食べましょう。
ススキがお供えものとして選ばれている理由は諸説
ありますが、ススキは月の神様の依り代と言われて
います。本来は稲穂をお供えしたいのですが、中秋
の名月の時期は稲刈り前が多いため、似たススキを
用いるようになりました。また、ススキの鋭い切り
口が魔除けになるとされ、お月見後は軒先にススキ
を吊るす風習もあります。

「月が綺麗ですね」

この言葉をご存じでしょうか？かの有名な夏目漱石の言葉です。漱石が英語教師をしていた頃、授業で「I love you.」を学生が「我君ヲ愛ス。」と訳しました。それに対して漱石は「日本人はそんな台詞を言わないので、『月が綺麗ですね』と訳します。」と返しました。決して英語ができなかったからではなく、奥ゆかしい日本人の性格を考慮した表現です。皆さんも今年の中秋の名月を、家族や友人、恋人など大切な人と眺めてみてください。



健康コラム 第23弾

今回のテーマは、「耳の健康について」です。テレワークや移動中にイヤホンを使用することが多い
昨今、外耳道炎にかかる方が増えています。改めて日常的なイヤホンの使い方を見直してみてください。

「外耳道炎」とは？

耳の入り口である耳介から、耳の奥の鼓膜までを結ぶ通り道
を「外耳道」といいます。
外耳炎(外耳道炎)とは、何らかの物理的な刺激によって外
耳道の皮膚が傷つき、そこから細菌が感染して炎症を起こ
す病気です。

主な症状

耳初期症状→耳のかゆみ、軽い痛み
進行した場合→耳の強い痛み、腫れ、難聴、
細菌の繁殖による外耳道や鼓膜のカビなど

上記から分かるように、外耳道炎は進行すると症状は深刻になっていきます。初期症状の段階である耳のかゆみを感じている時点で疑う必要があります。かゆみが続くようならできるだけ速やかに耳鼻科などを受診しましょう。原因や症状にもよりますが、点耳薬などによる適切な治療を受ければ1週間程度で改善するのが一般的です。

イヤホンの長時間使用に気をつけましょう！

ノイズキャンセル、フィット感のあるイヤホンほど要注意！

外耳道炎の引き金になるのは、冒頭でも触れた「物理的な刺激」です。特に仕事や移動中などにイヤホンを使う機会の多い方々は、イヤホンによる外耳道への刺激に注意しましょう。イヤホンを頻繁に使う方々は、音質や安定性を重視して、外耳道へぴったりとフィットするものを選ぶ方が多いはずですが、窮屈さを感じるほどフィットしすぎていたり、強くぐいぐい押し込むことを繰り返したりしていると、外耳道にとっては刺激になります。また、硬い素材が使われているイヤホンも外耳道の皮膚を傷つける要因になる場合があります。特にかゆみや痛みを感じる場合は、より小さめのものややわらかい素材のものに変えましょう。また、耳に直接触れる部分を清潔に保つこと、音量を上げすぎないこと、1時間以上の使用においてはイヤホンではなくスピーカーやヘッドホンタイプを使用することも、耳の健康のために気をつけたいポイントです。



まとめ:耳を守るためのイヤホンとの上手な付き合い方

- ・小さく耳への密着度が弱いもの、やわらかい素材を使用した製品を選ぶ
- ・長時間の場合はスピーカーやヘッドホンを使用する
- ・耳に直接触れる部分を清潔に保つ
- ・音量を上げすぎない
- ・連続して1時間以上は聴かない

